まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索 オイスカ西日本

第 691 号
令和 3 年 8･9 月号付録

←Facebook に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

福岡県庁　オイスカパネル展＆農産物販売会

7 月 6 日～13 日にかけて、福岡県庁 1 階ロビーにてオイスカ活動紹介のパネル展を開催しました。昨年に引き続き、県庁より場所をお借りして、多くの方にオイスカ活動を知って頂く機会として実施。来庁された方々が立ち止まり、パネル展を熱心にご覧いただきました。

また、同時並行で、12 日と 13 日の 2 日間、オイスカ農産物の即売会を実施しました。丁度夏野菜が取れる時期で、沢山の野菜を販売しました。特に好評だったのは、とうもろこし、スイカ、桃、オクラはあっという間に売り切れ、その他の野菜もたくさんの方にご購入いただきました。また、服部福岡県知事も足を運んでいただき、研修生に声を掛けて頂き、応援頂きました。県議会議員の先生方も沢山購入いただき、感謝致します。次回は秋に再度開催予定です。その際は、ぜひ県庁にもお立ち寄りくださいませ。(廣瀬)

オイスカ西日本支部　第 12 回幹事会開催

7 月 28 日、オンライン Zoom にて西日本支部の幹事会を開催しました。例年では、全幹事 37 名が会場に集い、オイスカ西日本支部及び西日本研修センターの活動報告、収支報告、活動予定、予算を審議頂くのですが、新型コロナウイルスの影響で昨年は書面開催。今年はだいぶ定着してきたオンラインでの開催となりました。当日は 25 名の幹事(代理含む)にご参加頂き、西日本支部の瓜生会長から、支援頂いている幹事の皆様に感謝の言葉が述べられました。また、県知事及び福岡市長からもオイスカを応援するメッセージを代読頂き、議事の終わりには、中野悦子理事長より挨拶を頂きました。時期は少し遅れましたが、無事幹事会を開催できありがとうございました。今年度は昨年に引き続き、異例の年となりますが、オイスカ活動はより一層力を入れて頑張りますので、応援よろしくお願い致します。(廣瀬)

オイスカ支援　農業ボランティア

令和 3 年度は、新型コロナウイルスの影響で新しい海外研修生が入国できませんでした。候補生は来年度へ繰越となったこともあり、通常通りの農場運営を行っていますが、何分人手が足りず、大変な毎日です。ありがたいことに、多くの方にご心配頂き、オイスカ会員企業を始め、オールドスカウトの方々、早良高校生、また、福岡県の職員の方々も応援に来ていただきました。この猛暑の中ですが、しっかりと汗をかいていただき、沢山のお力を頂き、心より感謝致します。これからもボランティアの受け入れは継続していきます。自然環境豊かな脇山地区でオイスカと一緒に農業体験されませんか？　お待ちしております。(廣瀬)

ご協力ありがとうございます！

【7 月の新入会】(敬称略)

株式会社ヴァリュークロス福岡、小笠木観光有限会社

小坂　啓史、内畑　　寛

【7 月の寄付品】(敬称略)

九州バイオカーボン㈱、浅野奈々穂、田中琴葉、柳原敦子、中武喜久代、前田冨洋、㈱ライオン、九工大、小野泰司、油機エンジニアリング、㈱丸善自動車、㈱クリスター、㈱三好不動産、

鬼木大明神　今月の一句

仕事をする時は上機嫌でやろうじゃないか！！
すれば仕事もはかどるし身体も疲れないのだ！
「環境が悪いから？」と文句を言うな！
望むような環境を探し出せそして作り出せ！！
その仕事は自分に向いていると思え！
その仕事をやればうまくいくと感じろ！
その仕事だけに働き過ぎるな！
そうして仕事に喜びを見出そう！！

ふれあい市でオイスカ農産物販売

7 月 17 日(土)第 3 回目の福岡市西区生松台のふれあい市にオイスカの農産物を出店しました。コロナ禍の中、2 ケ月間中止していた販売会でしたが、夏野菜の最盛期とあって当日は 20 品目の農産物をオイスカブースに並べたくさんの方にお越しいただきお買い求めいただきました。この時期オイスカの圃場ではたくさんの農産物が採れ、毎日各いろんなスーパーなどに出荷をしています。お近くにお住まいの方はお出かけいただきお買い求めいただければ幸いです。(満川)

オイスカ農産物の販売先

- **foodway(小戸店)**
  福岡市西区小戸 3 丁目 24-53
- **MAKII(山荘通り店)**
  福岡市中央区平尾 5 丁目 19-1
- **マックスバリュエクスプレス(姪浜駅前店)**
  福岡市西区内浜 1 丁目 1 番 5 号
- **明治屋ジャンボ市(太宰府店)**
  太宰府市都府楼南 4 丁目 11-1
- **明治屋ジャンボ市(諸岡店)**
  福岡市博多区諸岡 3 丁目 22-42
- **ルミエール(春日店)**
  春日市下白水北 3 丁目 91 番 1
- **ルミエール(太宰府店)**
  太宰府市大佐野 1 丁目 10-1
- **おやさいや菜**
  博多区春町 2-4-13
- **りんごの木**
  福岡市西区野方 1 丁目 15-6

8･9 月の予定

8/4　福岡市立老司小留守家庭つみ木広場
8/11　福岡リバティライオンズクラブ農業ボランティア

体験農園だより

梅雨が明けて、猛暑が続いています。今年は雨が少なく、畑も渇きがちでとても心配です。そんな状況ですが、どの野菜も今年は豊作で参加者の皆様も収穫を楽しんでいらっしゃいます！また大人気の夏野菜オクラも採れはじめました。より一層収穫を楽しんでいただけることと思います。

そして 7 月 24 日(土)には初のブルーベリー狩りを開催いたしました！今年はブルーベリーも豊作で、せっかくなので皆さんにも楽しんでいただこうということで開催に至りました。

当日は 5 組 13 名が参加。食べ放題、持帰りも可ということで、満足いくまで収穫していただきました。もし来年も豊作であれば、是非、開催したいです😊(飯川)

Bookshop「本と羊」マルシェ

7 月 25 日に福岡市六本松にある本屋の「本と羊」さんで 5 回目のマルシェをしました。当日は天気がよく暑かったため、これまでに比べるとお客様は少なかったですが毎回来てくれるお客様もいます。今度はいつするの？と聞かれるお客様も結構いらっしゃいます！今回は店主の神田さんのリクエストでスイカをたくさん持っていったらよく売れました。マルシェを行うことで本屋さんに来るお客さんも増えているようで嬉しいです。また開催する際はお知らせします！(園田)

海外研修生 TV 出演

7 月 1 日(木)オイスカ会員で福岡の RKB 毎日放送の「タダイマ」の番組に海外の研修生が 10 分程出演をさせていただきました。コロナ禍で、人との接触があまりできない中、今回テレビ局の企画で市内の料理人さんよりオンラインで指導を受ながら、フィジーのパウさんとパプアニューギニアのマックスさん 2 名は白衣に着替え日本の天丼づくりに初チャレンジ。慣れない手つきの中、具材を切り調味料を使って料理をしました。丼に盛ったごはんの上にはエビ、鶏肉、オイスカで採れたナスやピーマン、インゲン豆をのせ美味しい天丼が出来上がり。研修生たちは自分たちで料理した天丼に舌鼓を打ちながら、美味しいと笑みを溢していたのが印象的でした。 さて、次はどんな企画にチャレンジするのでしょう。 RKB 毎日放送株式会社の皆様ありがとうございました。(満川)

スイミー交流会

7 月 30 日にスイミーさんが来られました。子ども達とキュウリの収穫をして、その後川遊びをしました。いまはとても暑いので川遊びをして楽しかったです！(マックス)

OB 研修生紹介

今月の OB 紹介コーナーは、2013 年のチベット OB 研修生テンジン・リグデンさんです。テンジンさんという名前の研修生は今まで何人もいましたが、恐らく帰国後農業の分野で最も活躍しているのがこのテンジン・リグデンさんです。それでは帰国後の活躍について聞いてみましょう。

帰国してから今まで何をしていましたか？ ⇒2014 年の OISCA トレーニングを終えた後、私はコミュニティの普及員として農業省に再入省しました。私は、チベット人コミュニティとインド人コミュニティの農民に、持続可能な有機農業とその方法について紹介し、研修を実施しました。 2016 年に私はマネージャーのポストとして ORGANICRESEARCH＆TRAINING CENTER(ORTC)に異動しました。センターでは、酪農システム、苗床プロジェクト、園芸、ミミズ堆肥、野外活動について開発と指導をしました。最近、私たちのホーム部門の農業部が柑橘類の苗床を導入したので、そこで私たちはさまざまな種類の柑橘類を生産し、私たちのコミュニティに配布をしています。仕事は大変ですががんばっています。

ご家族を紹介してください。⇒私には 7 人の家族がいて、私には 3 人の弟と 1 人の妹がいて、全員が私たちのコミュニティで仕事をしています。 2020 年に結婚し、4 エーカーの土地があり、そこでトウモロコシの栽培を行っています。今年は、窒素固定のためにニームの木とマホガニー植物を栽培しました。

日本での思い出はなんですか？⇒ 1.日本人は人々を尊重します 2.食べ物では特にそばが好きです 3.願い事を私に教えてくれました 4.福岡の自然と気候 5.いろいろな人との交流 6.オイスカ会員と先生

今後の予定はありますか？⇒コミュニティで持続可能な農業を行い、有機市場を促進することです。

オイスカの会員の皆様へのメッセージ⇒私はすべてのチベット人コミュニティを代表して、OISCA で農業の高度な技術を学ぶためにチベット人に機会を与えてくれたことに感謝します。みなさんは私の先生で、特別なメッセージはありませんが、私はオイスカファミリーの一員で、オイスカの精神をいつも持ちたいと思います。最後に皆さんの健康と安全を祈念します。

会員さま紹介　（株）白浜工業　（オイスカ長崎県推進協議会）

今回の会員様の紹介は、長崎県佐世保市にあります(株)白浜工業様を紹介させていただきます。白浜工業様には、毎年海外研修生の産業視察の受入れで工場見学をさせてくださっており、工場の社員の方が宇宙服みたいな服を着て、鉄のサビを落とす作業の説明をいつもしてくださります。

〈事業内容〉弊社は、送電鉄塔や橋梁等の現場塗装工事を行っています。また、2 か所ある屋内工場で防錆塗装を行っています。

〈入会のきっかけ〉1998 年で、長崎商友会様から紹介をしていただいたのがきっかけで入会しました。

〈メッセージ〉現在オイスカの研修センターでは、今年度の研修生が入国できておりませんが、研修生のみなさんには日本で学んだことをそれぞれの国に持ち帰り、その成果を発揮してご活躍される事を祈念しています。これからのオイスカに期待することは、今後も優れた人材の育成と環境保全への貢献を期待します。

白浜工業様には、いつも海外研修生に対し温かいご指導をいただいております。これからも応援宜しくお願いいたします。

福岡農業高校 NPO 法人「Eating Love Circle」センター日帰り合宿のため来所

7 月 29 日(木)コロナ禍になる前まで毎年センターに合宿で来ていた、福岡農業高校の NPO 法人「Eating Love Circle」のメンバー11 名(引率3名)が、2 年ぶりにセンターを訪問し、半日ではありましたが交流会を実施しました。交流会の内容は例年通りで、研修生から国の紹介とブルーベリー収穫体験、料理づくりやビンゴゲームなどで盛り上がりました。今回も、学生の方から研修生に対しうどんづくりの体験をさせていただき、熱心な研修生はメモを取りながら真剣なまなざしで作業を行っていました。出来たうどんはとても美味しく、参加した研修生は「このうどんを国に帰ってから是非作りたい」と意気込みを語っていました。短い時間ではありましたが、お互いに学びの多い充実した時間を過ごすことが出来ました。

国の紹介

ブルーベリーの収穫

うどん作り

農場研修風景

暑い日が続きますね。7 月に入ってから殆ど雨がふらず、畑はすでにカラカラの状態でしたが、今この原稿を書いているときに、突如恵みの雨がザーザーと降ってくれました。「雨が降らなくて困っています」と書きたかったのですが、書くタイミングを失ってしまいました。それにしても連日の猛暑日で、畑の野菜や人も少々ばて気味の状態ですが、水が少ない中でも毎日野菜たちは私たちに収穫の恵みを与えてくれます。

それでは野菜たちはどこから水分を補給しているのでしょうか？それは地中深くに張り巡らされた根っこが土の中の水分を吸収しているのと、葉っぱについた朝露からも水分を補給しているのですね。野菜の生命力にはいつも驚かされますが、この異常気象を何とか乗り切って頑張っていきたいと思います。(豊田)